

琴浦中学校宇宙連詩 1年4組

- 1 昼は青空の顔してる
夜は星空の顔になる
宇宙はどんな気持ちで僕らを見てるのだろう？
谷川俊太郎
- 2 展望台の望遠鏡から目をはずしたら
おかあさんが手すりにもたれて 地平線を見ていた
はじめて見る おかあさんの横顔
ここにいるのに おかあさんはどこか遠くにいる
私といっしょにいるのに ひとりきりである
覚和歌子
- 3 もしも言葉がなかったら 星に願いもかけられない
星は星に 私たちはわたしたちにひきこもって
宇宙全体がキーンと 狂ってしまうだろう
野村喜和夫
- 4 夜に空を見上げてみると
数え切れないほどの星があった
きらきら輝く星たちは 乾ききった私の心を
優しくいやしてくれているようで
友浦桃奈
- 5 地球には星のように数え切れないほど
大切な命がある
一つ一つ支えあいながら生きている
中津美紅
- 6 「人」という字は
一人一人が支えあっている様子
相手がいないと自分が倒れてしまう
自分がいないと相手が倒れてしまう
「人」は協力し合って生きている
岡田紗弥
- 7 あなたの笑顔が 仲間の笑顔が
私にたくさんの勇気と幸せをくれる
私の大切な親友 いつも支えてくれてありがとう
石井ゆりか
- 8 「ごめんなさい」それはきっと
次のステップにいくための欠かせない言葉
くじけそうになって意地張っても
最後はその言葉で仲直り
きっとこの言葉は幸せの輝き
三宅雛子
- 9 言葉は一瞬で人を傷つけたり喜ばせたりするものである
言葉とは人を傷つける凶器でもあるし
人を喜ばせる薬のようなものである
西山 諒
- 10 言葉とは1回言ったら消すことができない
どんなに誤ったとしても使った言葉はやり直せない
傷ついた相手の心もやり直せない
ただどいった言葉が相手をうれしくさせることもある
言葉とは自分を味方にするか敵にするかの最強のライバルである
小寺貴大

